

毎年恒例 氷ノ山の春の自然を楽しむ山行

山菜採りを楽しみ、天ぷらにして食し、ブナ林では美しい新緑を愛で、
そして、氷ノ山に逝った山の仲間の慰霊登山も行なった

2018年5月26日～27日

<参加メンバー> 7人(今回は男性のみ)

<天候> 晴れ

<コースタイム>

5/26 JR宝塚駅北側8:00集合 — 11:50ハチ高原(昼食、山菜採り) 13:40 — 14:00氷ノ山国際スキー場キャンプ場(テント設営、慰霊登山)

5/27 幕営地6:30発 — 6:55親水公園 — 7:09布滝 — 7:49地藏堂 — 9:07氷ノ山越 — 10:02仙谷分岐 — 10:13コシキ岩 — 10:39氷ノ山頂上 — 11:25神大フütte — 12:52東尾根避難小屋 — 13:25登山口 — 13:29キャンプ場 テントを撤収し、往路を戻る

<山行の概要>

5月の氷ノ山山行は毎年行なっている。兵庫県の最高峰である氷ノ山の美しい自然を会員のみんに知ってもらいたいからである。そして、氷ノ山で遭難した兵庫労山の仲間の慰霊を兼ね、安全登山を考える機会にしたいとの思いもある。慰霊登山を続けているのは私たち北摂山の会と高御位山遊会ぐらいのようだ。

今年のメンバーは何故か男ばかりとなった。毎年山菜採りを行なっているハチ高原は、防災のため?の工事か、林道がどんどん奥に伸び、そのためなのか年々山菜が採れなくなっている。

いつ来ても氷ノ山は良い。カッコウやホトトギスの声が聞こえる。そして、ブナをはじめ新緑が美しい。また来年も行こう。



1. 山菜採りを行なったハチ高原から、右上奥が氷ノ山



2. キャンプ場ではツェルトによる簡易テントも設営、全部で3張り



3. テント設営完了



4. スキー場を登り、慰霊登山に行く。この奥、左側の逆水とオオダニに慰霊碑がある



5. キャンプ場に戻り、山菜の天ぷらなどを肴に今宵の宴が始る



6. 夕暮れ時、一番星が見える



7. 宴はなおも続く。ちょっと酩酊状態



8. 翌早朝、氷ノ山登山をスタート



9. ここ親水公園より登りが始る



10. 氷ノ山越の避難小屋に到着



11. 氷ノ山越から先はブナ原生林を登る



12. 美しいブナ林の中を歩く



13. ムシカリ(オオカメノキ)の花 標高 1000m以上の氷ノ山では5月下旬の今頃咲いている



14. 氷ノ山山頂にて。



15. 氷ノ山山頂にて その2



16. 東屋根のブナ林を下る



17. そしてなお、東尾根を下る



18. 東屋根避難小屋に到着
可愛い小さい小屋である



19. 東屋根登山口に到着。今回の山行は自然を堪能して無事終わった



20. 東屋根登山口のこの大きな石の道標は、氷ノ山遭難事故の後、淡路労山と南但山歩会が設置したものである。事故当時の日付と山岳会名が刻まれている